

浜の活力再生プラン
令和5～9年度
(第2期)

1 地域水産業再生委員会

組織名	久礼地域水産業再生委員会
代表者名	会長 崎山 義澄 (久礼漁業協同組合 代表理事組合長)

再生委員会の構成員	久礼漁業協同組合、中土佐町農林水産課、高知県中央漁業指導所
オブザーバー	—

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	<p>地域：高知県高岡郡中土佐町久礼</p> <p>対象漁業種類：</p> <p>沿岸カツオ一本釣り漁業（4）、一本釣り漁業（65）、曳縄漁業（53）、延縄漁業（15） 合計：113 経営体</p> <p>※一本釣りと曳縄、延縄で兼業あり</p>
-------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

高知県中西部に位置する当地域は、数百年の歴史を持つカツオ一本釣りを中心とした漁業で繁栄してきた町で、主にカツオ一本釣り漁業や沿岸曳縄漁業などが営まれている。これらの漁業は、漁獲物の一部が他地域に水揚げされているものの、当地域にとって欠かせない主力漁業であり、カツオにおいては現在でも県内有数の水揚地になっている。

一方、近年の魚価低迷や燃油高騰によりこれらの漁業経営は逼迫しており、併せて漁業者の高齢化及び後継者不足から、当地域の水産業の衰退が懸念されている。加えて、令和2年から世界規模で感染拡大した新型コロナウイルスの影響により、県内外の飲食店における需要が減少したことから、延縄漁業で漁獲される赤もの類（マダイ、アマダイ等）の水揚単価が極端に低迷し、赤字操業になるなど、漁業経営への影響が懸念されている。

1 カツオ一本釣り漁船の水揚

カツオの漁場は、土佐湾内の黒潮牧場や種子島周辺海域など、季節に応じて変動しており、常に久礼市場の近隣海域とは限らない。久礼漁協所属の沿岸カツオ一本釣り船は、基本的に久礼市場へ水揚するが、遠方漁場の場合は往復に係る負担が大きいため、漁場の近隣漁港（主に清水、室戸）で陸揚し、久礼漁協又は漁業者自身が手配した陸送車により久礼市場へ水揚する体制をとっている。当地域では久礼市場で競りにかけられたカツオの需要が高いため、需要量や水揚単価からみても陸送に値するメリットが存在している。

2 産地市場における取組

久礼漁協では、沿岸カツオ一本釣り船から水揚げ前に漁獲情報を入力し、産地仲買人へメール配信している。これにより産地仲買人の入札に係る利便性の向上、市場を利用する仲買人数の維持・増加に努めている。その一方で、水揚単価の向上と市場取扱量の維持・増加を両立させるためには、カツオの鮮度保持対策の強化や魚食普及等による生鮮需要の拡大とその需要に見合う水揚量の確保が必要である。

第1期プランでは、久礼市場への水揚量を確保するため、陸送車を活用して県内他漁港からの集荷量増加に取り組み、市場取扱量の増加及び水揚単価の向上、産地仲買人の定着に貢献した。

3 地域と連携した取組（魚食普及）

当地域では、毎年、初鯉が獲れる5月中旬にかつお祭が開催されており、久礼産の新鮮なカツオが参加者に振舞われると共に、カツオ一本釣り船への乗船体験によるカツオのPRを行っている。また、久礼漁協女性部は、観光客向けカツオのたたき作り体験や地元中学生向けにカツオに関する食育授業を行うなど、久礼産カツオの普及活動を行っている。しかしながら、第1期においては、人手不足や新型コロナウイルス感染拡大の影響から、これらの取組が十分に行えなかった。

4 新規就業者の確保

当地域では、漁業者の高齢化及び後継者不足が深刻であり、漁業者の減少に歯止めをかけることが喫緊の課題となっている。漁協は、新規漁業就業希望者を漁業研修生として積極的に受入れ、担い手の育成を推進している。

(2) その他の関連する現状等

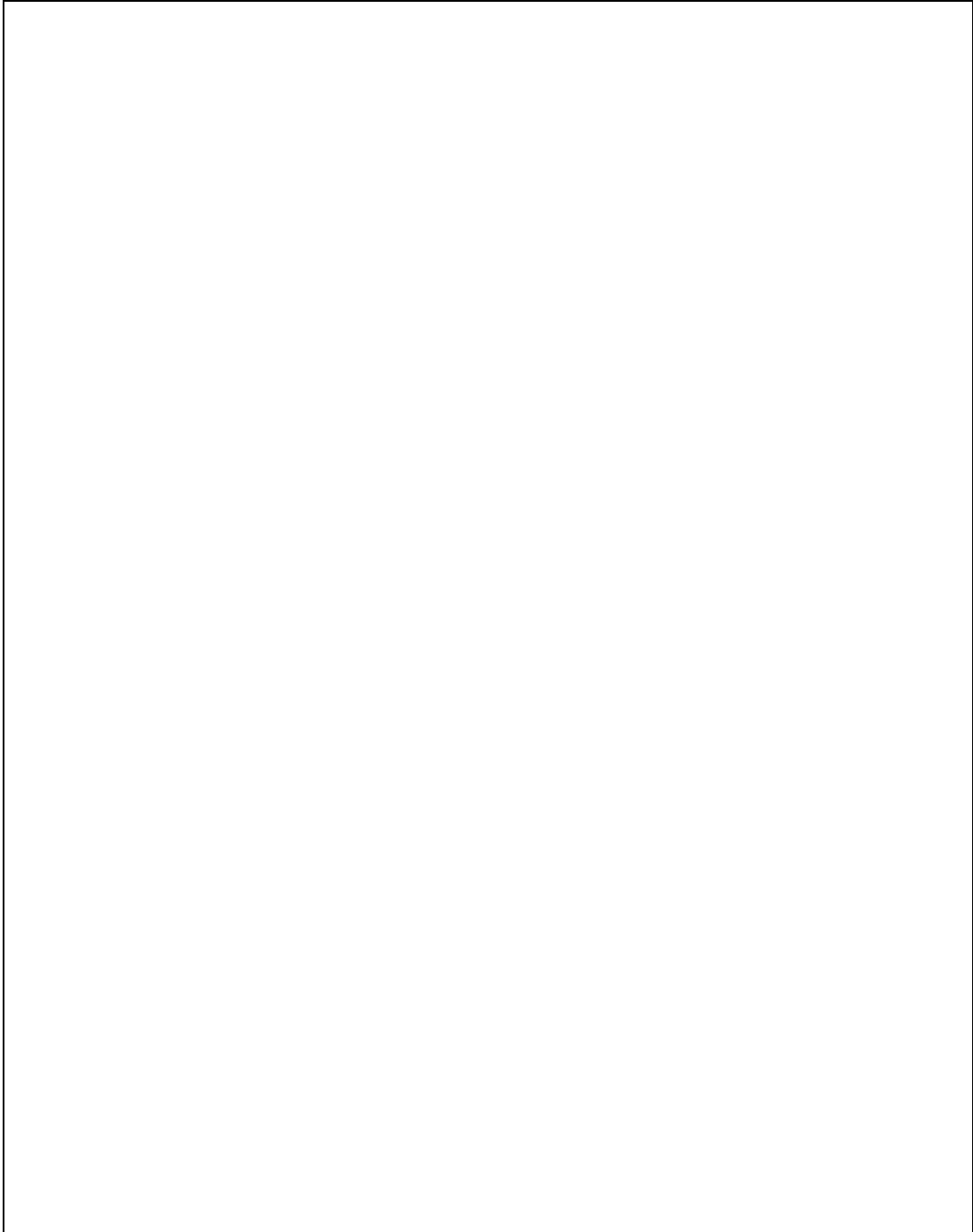
平成29年に道の駅「なかとさ」が久礼漁協前にオープンし、久礼産カツオやマルソウダなどの地域の水産物も販売している。第1期においては、水産物（主にマルソウダ）の取引拡大に取り組んだが、安定供給等の課題から大規模又は定量的な取引拡大は困難であったため、現在は漁業者個人による少量の取引のみが行われている。

地元観光地の久礼大正町市場では、1年を通して地元で水揚げされた様々な魚を取り扱っており、高知県特有の食文化を味わえることから多くの観光客が訪れている。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--



(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

1 水揚単価の維持向上

(ア) 陸送車の活用による操業効率化及び水揚単価の維持向上

- ・沿岸カツオー一本釣り船は季節に応じて様々な漁場で操業を行うが、久礼漁港から遠方の漁場で操業した場合、水揚のための帰港に時間がかかるため、操業機会が減少してしまう。このため、第1期プランから継続して漁場近隣の漁港での陸揚及び久礼市場

への陸送に取り組むことで、操業機会の増加を図る。

- ・陸送車の活用は、水揚市場の一極集中によるカツオ単価の下落防止に繋がることから、積極的に活用して水揚市場の分散を図り、カツオ水揚単価の維持向上に努める。
- ・操業に必要な餌の補給には、県外への往復を伴う場合がある。陸送車を活用しない場合、一旦漁場近隣の市場で水揚げしてから餌の補給に向かう必要があるが、陸送車を活用した場合、陸揚げ可能な港があれば餌の補給に向かう途中でも陸揚げが可能であるため、操業効率化に繋がる。
- ・本取組は1台の漁協の陸送車（以下、JF陸送車）を複数の漁船で運用しているため、第1期プランでは水揚時間が重なったことからJF陸送車を利用できず、漁業者自身が急遽、別の陸送車を手配するといった課題が生じた。第2期プランでは、JF陸送車のより効率的な運用体制の確立、及び漁業者が手配した陸送車による久礼市場への陸送コストの支援を行い、漁業者の水揚げの負担軽減を図る。

（イ）漁獲・水揚情報の共有

- ・カツオの水揚げが久礼市場に集中すると、単価が暴落し、水揚げあたりの損益がマイナスになる場合がある。このため、漁協及び漁業者は水揚情報を共有し、久礼市場へ大量の水揚げが見込まれる場合は、他市場で水揚げを行うことで水揚単価の下落防止を図る。
- ・周辺の水揚動向から、久礼市場において高値が付く見込みがある場合は、久礼市場への水揚量を一定確保するよう努める。

（ウ）久礼市場へのカツオの水揚制限

令和2-3年のカツオ豊漁に起因した久礼市場におけるカツオ単価の暴落を受け、沿岸カツオ一本釣り漁業者は、漁業者間で大量水揚時の単価下落防止に関する協議を行った。協議では、久礼市場への水揚量を2t/日/隻までとする水揚制限が提案され、この取組により単価の維持向上に努める。

2 情報発信の拡充による需要喚起

（ア）SNSを活用したカツオ水揚情報の発信

久礼大正町市場をはじめとした中土佐町内のカツオの提供店には、観光客や久礼市場で水揚げされたカツオを求める消費者が訪れるが、提供されるカツオの量や鮮度は水揚状況に左右されるため、消費者が求めるカツオが常に手に入るとは限らない。このため、人伝に久礼市場への水揚状況を聞いた上で久礼を訪れる消費者も一定数存在することから、久礼大正市場等と連携してSNSでカツオ水揚情報を発信し、カツオを目的に訪れる消費者の来訪タイミングのミスマッチを防ぐことで、中土佐町内におけるカツオの消費拡大及び久礼市場における単価向上を図る。

(イ) メディアを活用したカツオの需要喚起

カツオの県内需要は年間を通して堅調であるが、春と秋の来遊シーズンにはさらに需要が高まる。これに着目し、漁協は、カツオの需要が高まるシーズンにラジオを通してPRを行い、需要喚起を図る。

3 市場環境の整備及び仲買人の増加による水揚単価の向上

(ア) 市場の衛生管理の向上

- ・漁獲物の衛生管理のため、入札前の漁獲物を市場の床に直置きせず、市場内に設置したカゴに入れるよう漁業者に周知する。
- ・ルミテスターを用いて市場の衛生状況を確認することで、より効果的な清掃方法を確立する等、漁獲物の安全確保及び評価向上に努める。

(イ) 市場照明及び水揚作業灯のLED化

漁協は、市場照明及び水揚作業灯をLED化し、漁獲物の状態を目視で確認しやすくすることで、漁獲物の選別作業及び競りの効率化を図る。

(ウ) 仲買人への情報提供サービスの維持・拡充

現在、久礼市場の競りに参加する仲買人等に対し、メールで水揚情報を配信している。配信先の仲買人から現在の配信情報について聞き取りを行い、要望に応じて内容を拡充することで、競りに参加する仲買人の維持・増加を図り、水揚単価の向上を目指す。

4 新規漁業就業者の確保

漁業者の高齢化及び減少に対応するため、漁協は漁業就業希望者を支援する事業を活用して、担い手の育成・確保を推進する。

5 漁業コストの削減

(ア) 燃油削減の取組と操業効率化

- ・近年の燃油高騰は漁業経営を大きく圧迫している。特にカツオ一本釣り漁業は多くの燃油を消費するため、燃油削減の取組は漁業経営の安定に必要不可欠である。このため、漁業者は、省エネエンジンや機器の導入及び船底清掃の励行に加え、出漁時間を早めて減速航行で漁場へ向かう等に取り組み、燃油消費量の削減を図る。
- ・JF陸送車を効率的に運用し、漁場近隣や餌補給に向かう途中の漁港で水揚を行うことで、燃油等の経費削減を図る。

(イ) 漁業経営の安定化

漁業者は、漁業経営セーフティーネット構築支援事業や資源管理・漁業経営安定対策などを活用し、漁業経営の安定化を図る。

(3) 資源管理に係る取組

「久礼漁業協同組合所属 19t 型カツオ船によるカツオー本釣漁業の資源管理計画」において、自主的管理措置として 11-3 月に 20 日間の休漁を設定し、漁獲努力量の削減に取り組んでいる。

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1 年目（令和 5 年度）対基準年比 1.98% 所得向上目標

漁業収入向上のための取組	<p>1 水揚単価の維持向上</p> <p>(ア) JF 陸送車の活用による操業効率及び水揚単価の維持向上</p> <p>1 回あたりの積載可能量約 2.5 t の内、久礼市場への 1 隻あたりの水揚制限である 2 t（取組（ウ））を積載する船は輪番制とし、残り約 0.5 t 分は残りの漁船間で調整して利用することで効率的な陸送体制を整える。また、陸送に係る人件費は使用した 2 隻と漁協で負担し、陸送にかかる漁業者の負担軽減を図る。</p> <p>(イ) 漁獲・水揚情報の共有</p> <ul style="list-style-type: none">・漁協及び漁業者は水揚情報を共有し、久礼市場へ大量の水揚が見込まれる場合は他港で水揚を行うことで単価の下落防止を図る。・周辺の水揚動向から久礼市場において高値が付く見込みがある場合は、久礼市場への水揚量を一定量確保するよう努める。 <p>(ウ) 久礼市場へのカツオの水揚制限</p> <p>久礼市場への水揚量を 2 t/日/隻までとし、水揚単価の下落防止を図る。</p> <p>2 情報発信の拡充による需要喚起</p> <p>(ア) SNS を活用したカツオ水揚情報の発信</p> <p>漁協は、久礼大正市場等と連携し、SNS で久礼市場へのカツオ水揚情報を発信する。取組 1 年目は、春と秋のカツオ来遊シーズンに水揚情報を発信する。</p> <p>(イ) メディアを活用したカツオの需要喚起</p> <p>春と秋のカツオ来遊シーズンにラジオを通して P R を行う。</p> <p>3 市場環境の整備及び仲買人の増加による水揚単価の向上</p> <p>(ア) 市場の衛生管理の向上</p> <ul style="list-style-type: none">・入札前の漁獲物を市場の床に直置きせず、市場内に設置したカゴに入れるよう漁業者に周知する。
--------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・ルミテスターを用いて市場の衛生状況を確認することで、より効果的な清掃方法を確立する等、漁獲物の安全確保並びに評価向上に努める。 <p>(イ) 市場照明及び水揚作業灯のLED化 市場照明及び水揚作業灯をLED照明に換装する。</p> <p>(ウ) 仲買人への情報提供サービスの拡充 水揚情報を配信している仲買人に配信情報について要望等の聞き取りを行い、発信情報の拡充を図る。</p> <p>4 新規漁業就業者の確保 漁協は、漁業就業希望者を支援する事業を活用して、担い手育成を推進する。また、研修生に対して聞き取りを行い、研修生の現状を把握するとともに、より就業しやすい環境づくりに努める。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>5 漁業コストの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネエンジンや機器の導入及び船底清掃の励行に加え、出漁時間を早めて減速航行で漁場へ向かう等に取り組み、燃油消費量の削減を図る。 ・陸送車の効率的な輸送体制を整えるため、漁業者及び漁協間で陸送車を使用するタイミング等を調整する。 ・「漁業経営セーフティネット構築支援事業」、「資源管理・漁業経営安定対策」などを活用し、漁業経営の安定化を図る。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業【国】 ・資源管理・漁業経営安定対策【国】 ・漁業就業総合支援事業【国】 ・種子島周辺漁業対策事業【JAXA】 ・高知県漁業就業支援事業【県】 ・高知県種子島周辺漁業対策事業【県】 ・中土佐町漁業就業支援事業【町】 ・中土佐町種子島周辺漁業対策事業【町】 ・中土佐町漁業振興補助金【町】 ・中土佐町漁業用燃油高騰対策補助金【町】

2年目（令和6年度）対基準年比4.72%所得向上目標

漁業収入向上のための取組	<p>1 水揚単価の向上</p> <p>(ア) 陸送車の活用による操業効率及び水揚単価の維持向上</p> <p>取組1年目で設定した運用体制について、前年度の実績と漁業者からのフィードバックを元に改善に取り組む。</p>
--------------	--

	<p>(イ) 漁獲・水揚情報の共有 漁業者からのフィードバックを元に提供情報の拡充について順次検討、実施していく。</p> <p>(ウ) 久礼市場へのカツオの水揚制限 前年度までの水揚制限に対する効果について、漁協及び漁業者間で振り返る機会を設け、取組改善を図る。</p> <p>2 情報発信の拡充による需要喚起</p> <p>(ア) SNSを活用したカツオ水揚情報の発信 取組1年目の春と秋のカツオ来遊シーズンに加え、県外観光客が増える長期連休や年末などのカツオの需要が高まる時期において情報発信の回数を増やす。</p> <p>(イ) メディアを活用したカツオの需要喚起 前年度の放送内容を振り返り、PRにより効果的な放送内容や放送時期について見直しと必要に応じて要望、提案を行う。</p> <p>3 市場環境の整備による単価向上</p> <p>(ア) 市場の衛生管理の向上 1年目の取組を継続するとともに、ルミテスター検査については検査結果を元に検査箇所を変更するなど、より効果的な清掃方法の確立を目指す。</p> <p>(イ) 市場照明及び水揚作業灯のLED化 漁業者及び仲買人等の市場関係者に対して、LED化の効果及びその他の市場環境の改善点等について聞き取りを行う。</p> <p>(ウ) 仲買人への情報提供サービスの拡充 1年目の取組を継続し、競りに参加する仲買人の維持・増加を目指す。</p> <p>4 新規漁業就業者の確保 漁協は、漁業就業希望者を支援する事業を活用して、担い手育成を推進する。また、研修生に対して聞き取りを行い、研修生の現状を把握するとともに、より就業しやすい環境づくりに努める。</p>
<p>漁業コスト削減のため</p>	<p>5 漁業コストの削減 ・省エネエンジンや機器の導入及び船底清掃の励行に加え、出漁時間を早</p>

の取組	<p>めて減速航行で漁場へ向かう等に取り組み、燃油消費量の削減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸送車の効率的な輸送体制を整えるため、漁業者及び漁協間で陸送車を使用するタイミング等を調整する。 ・「漁業経営セーフティーネット構築支援事業」、「資源管理・漁業経営安定対策」などを活用し、漁業経営の安定化を図る。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティーネット構築事業【国】 ・資源管理・漁業経営安定対策【国】 ・漁業就業総合支援事業【国】 ・種子島周辺漁業対策事業【JAXA】 ・高知県漁業就業支援事業【県】 ・高知県種子島周辺漁業対策事業【県】 ・中土佐町漁業就業支援事業【町】 ・中土佐町種子島周辺漁業対策事業【町】 ・中土佐町漁業振興補助金【町】

3年目（令和7年度）対基準年比6.91%所得向上目標

漁業収入向上のための取組	<p>1 水揚単価の維持向上</p> <p>(ア) 陸送車の活用による操業効率及び水揚単価の維持向上 前年度までの実績と漁業者のフィードバックを元に改善に取り組む。</p> <p>(イ) 漁獲・水揚情報の共有 漁業者からのフィードバックを元に提供情報の拡充について順次検討、実施していく。</p> <p>(ウ) 久礼市場へのカツオの水揚制限 前年度までの水揚制限に対する効果について、漁協及び漁業者間で振り返る機会を設け、取組改善を図る。</p> <p>2 情報発信の拡充による需要喚起</p> <p>(ア) SNSを活用したカツオ水揚情報の発信 前年度までの発信に対する閲覧回数等を基に取組の効果について分析を行い、情報発信回数と発信期間の拡大に取り組む。</p> <p>(イ) メディアを活用したカツオの需要喚起 前年度までの放送内容を振り返り、PRにより効果的な放送内容について見直しと必要に応じて要望、提案を行う。</p>
--------------	---

	<p>3 市場環境の整備及び仲買人の増加による水揚単価の向上</p> <p>(ア) 市場の衛生管理の向上</p> <p>1－2年目の取組を継続するとともに、ルミテスター検査については検査結果を分析し、より効果的な清掃方法の確立を目指す。</p> <p>(イ) 市場照明及び水揚作業灯のLED化</p> <p>漁業者及び仲買人等の市場関係者に対して、LED化の効果及びその他の市場環境の改善点等について聞き取りを行う。</p> <p>(ウ) 仲買人への情報提供サービスの拡充</p> <p>1－2年目の取組を継続し、競りに参加する仲買人の維持・増加を目指す。</p> <p>4 新規漁業就業者の確保</p> <p>漁協は、漁業就業希望者を支援する事業を活用して、担い手育成を推進する。また、研修生に対して聞き取りを行い、研修生の現状を把握するとともに、より就業しやすい環境づくりに努める。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>5 漁業コストの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネエンジンや機器の導入及び船底清掃の励行に加え、出漁時間を早めて減速航行で漁場へ向かう等に取り組み、燃油消費量の削減を図る。 ・陸送車の効率的な輸送体制を整えるため、漁業者及び漁協間で陸送車を使用するタイミング等を調整する。 ・「漁業経営セーフティネット構築支援事業」、「資源管理・漁業経営安定対策」などを活用し、漁業経営の安定化を図る。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業【国】 ・資源管理・漁業経営安定対策【国】 ・漁業就業総合支援事業【国】 ・種子島周辺漁業対策事業【JAXA】 ・高知県漁業就業支援事業【県】 ・高知県種子島周辺漁業対策事業【県】 ・中土佐町漁業就業支援事業【町】 ・中土佐町種子島周辺漁業対策事業【町】 ・中土佐町漁業振興補助金【町】

4年目（令和8年度）対基準年比9.11%所得向上目標

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>1 水揚単価の維持向上</p> <p>(ア) 陸送車の活用による操業効率及び水揚単価の維持向上</p> <p>1－3年目の実績と漁業者からのフィードバックを元に改善に取り組む。</p>
---------------------	---

	<p>(イ) 漁獲・水揚情報の共有 漁業者からのフィードバックを元に提供情報の拡充について順次検討、実施していく。</p> <p>(ウ) 久礼市場へのカツオの水揚制限 1－3年目の水揚制限に対する効果について、漁協及び漁業者間で振り返る機会を設け、取組改善を図る。</p> <p>2 情報発信の拡充による需要喚起 (ア) SNSを活用したカツオの水揚情報の発信 1－3年目の発信に対する閲覧回数等を基に取組の効果について分析を行い、情報発信回数と発信期間の拡大に取り組む。</p> <p>(イ) メディアを活用したカツオの需要喚起 1－3年目の放送内容を振り返り、PRにより効果的な放送内容や放送時期について見直しと必要に応じて要望、提案を行う。</p> <p>3 市場環境の整備による単価向上 (ア) 市場の衛生管理の向上 1－3年目の取組を継続するとともに、ルミテスター検査については検査結果を分析し、より効果的な清掃方法の確立を目指す。</p> <p>(イ) 市場照明及び水揚作業灯のLED化 2－3年目の聞き取りに基づき、市場環境の改善を検討する。</p> <p>(ウ) 仲買人への情報提供サービスの拡充 1－3年目の取組を継続し、競りに参加する仲買人の維持・増加を目指す。</p> <p>4 新規漁業就業者の確保 漁協は、漁業就業希望者を支援する事業を活用して、担い手育成を推進する。また、研修生に対して聞き取りを行い、研修生の現状を把握するとともに、より就業しやすい環境づくりに努める。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>5 漁業コストの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネエンジンや機器の導入及び船底清掃の励行に加え、出漁時間を早めて減速航行で漁場へ向かう等に取り組み、燃油消費量の削減を図る。 ・陸送車の効率的な輸送体制を整えるため、漁業者及び漁協間で陸送車を

	<p>使用するタイミング等を調整する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「漁業経営セーフティネット構築支援事業」、「資源管理・漁業経営安定対策」などを活用し、漁業経営の安定化を図る。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業【国】 ・資源管理・漁業経営安定対策【国】 ・漁業就業総合支援事業【国】 ・種子島周辺漁業対策事業【JAXA】 ・高知県漁業就業支援事業【県】 ・高知県種子島周辺漁業対策事業【県】 ・中土佐町漁業就業支援事業【町】 ・中土佐町種子島周辺漁業対策事業【町】 ・中土佐町漁業振興補助金【町】

5年目（令和9年度）対基準年比 11.11%所得向上目標

漁業収入向上のための取組	<p>1 水揚単価の維持向上</p> <p>(ア) 陸送車の活用による操業効率及び水揚単価の維持向上</p> <p>1-4年目の実績と漁業者のフィードバックを元に取り組内容を評価し、第2期プラン後の陸送体制について検討する。</p> <p>(イ) 漁獲・水揚情報の共有</p> <p>漁業者からのフィードバックを元に提供情報の拡充について順次検討、実施していく。</p> <p>(ウ) 久礼市場へのカツオの水揚制限</p> <p>1-4年目の取組効果を評価し、第2期プラン後の水揚制限の継続や水揚上限の増加について検討する。</p> <p>2 情報発信の拡充による需要喚起</p> <p>(ア) SNSを活用したカツオの水揚情報の発信</p> <p>1-4年目の発信に対する閲覧回数等を基に取り組の効果について分析を行い、第2期プラン終了後の取組方針について協議する。</p> <p>(イ) メディアを活用したカツオの需要喚起</p> <p>1-4年目の放送内容を振り返り、よりPRに効果的な放送内容や今後の方針について検討する。</p> <p>3 市場環境の整備及び仲買人の増加による水揚単価の向上</p>
--------------	--

	<p>(ア) 市場の衛生管理の向上 1－4年目の取組結果を評価し、第2期プラン終了後の取組方針について検討する。</p> <p>(イ) 市場照明及び水揚作業灯のLED化 4年目の市場環境の改善に関する検討内容に基づき、市場環境の改善に取り組む。</p> <p>(ウ) 仲買人への情報提供サービスの拡充 取組効果の総括を行い、第2期プラン後の取組について検討する。</p> <p>4 新規漁業就業者の確保 漁協は、漁業就業希望者を支援する事業を活用して、担い手育成を推進する。また、研修生に対して聞き取りを行い、研修生の現状を把握するとともに、より就業しやすい環境づくりに努める。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>5 漁業コストの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネエンジンや機器の導入及び船底清掃の励行に加え、出漁時間を早めて減速航行で漁場へ向かう等に取り組み、燃油消費量の削減を図る。 ・陸送車の効率的な輸送体制を整えるため、漁業者及び漁協間で陸送車を使用するタイミング等を調整する。 ・「漁業経営セーフティーネット構築支援事業」、「資源管理・漁業経営安定対策」などを活用し、漁業経営の安定化を図る。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティーネット構築事業【国】 ・資源管理・漁業経営安定対策【国】 ・漁業就業総合支援事業【国】 ・種子島周辺漁業対策事業【JAXA】 ・高知県漁業就業支援事業【県】 ・高知県種子島周辺漁業対策事業【県】 ・中土佐町漁業就業支援事業【町】 ・中土佐町種子島周辺漁業対策事業【町】 ・中土佐町漁業振興補助金【町】

(5) 関係機関との連携

取組推進のため、道の駅や地域振興団体などの地域の他組織に加え、漁業者OBや産地仲買人などの関係者と密に連携を図り、随時意見交換や情報交換に努める。

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上10%以上	基準年	H29～R3年度：漁業所得
	目標年	令和9年度：漁業所得

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

トラックによる県内他漁港からの陸送回数	基準年	H29～R3年度平均：113（回）
	目標年	令和9年度：130（回）

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>漁場位置の変動があることから各地域からの陸送回数を正確に予測することは困難であるため、過去の陸送回数から水揚量の維持に必要と考えられるおおよその陸送回数を目標として設定。</p> <p>（参考）H29～R3年度の最大陸送回数：127回</p>
--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
漁業経営セーフティネット構築支援事業（国）	燃油価格高騰時に備え、漁業経営の安定化を図る。
資源管理・漁業経営安定対策（国）	共済及び積立ぷらすに加入し、不漁等による水揚の減少時に備えることで、漁業経営の安定化を図る。
種子島周辺漁業対策事業（JAXA、県、町）	共同利用施設の整備や操業効率化機器の導入により、コスト削減及び操業効率化に取り組み、漁業経営の安定化を図る。
漁業就業総合支援事業（国）、漁業就業支援事業（県、町）	独立・自営等の沿岸漁業者を目指す者に対して、技術習得研修の実施等について支援する。

中土佐町漁業振興補助金	漁業活動の維持・向上に必要なハード整備等を行い、漁業経営の安定化を図る。
中土佐町漁業用燃油高騰対策補助金	燃油価格高騰による影響を緩和し、漁業経営の安定化を図る。